

議会報告会報告書

平成27年11月5日

山陽小野田市議会

議長 尾山 信義 様

C班

代表 松尾数則

平成27年9月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成27年10月27日(火) 19:00～20:30

2 開催場所

厚陽公民館

3 参加人数(市民)

10人

4 担当班議員名

(松尾数則) (伊藤 實) (小野 泰)

(中島好人) (矢田松夫) (吉永美子)

5 報告会次第

(1) 市議会議長挨拶

(2) 9月議会の報告

① 総務文教常任委員会 (伊藤 實) [司会] (矢田松夫)

② 民生福祉常任委員会 (小野 泰) [記録] (吉永美子)

③ 産業建設常任委員会 (中島好人) [受付] (吉永美子)

④ 一般会計予算決算常任委員会 (松尾数則)

(3) 質疑応答

6 主な質問・意見・提言

- ①厚狭複合施設建設について、建築前に確認したのか。議会が責任を持つべきであり、チェックできないのなら、専門家に依頼すべきではないか。

[回 答]

ワークショップの意見などを執行部に伝えているが、経過の動向について審査していない。委員会の対応を今後考えていかなければならない。執行部を信用し、裏切られた感覚がある。専門家への依頼については、議会は予算を持っていない。

- ②新病院の建設について、事業に追加で予算増となっているが、きちんとチェック機能を果たせる人物がほしい。

[回 答]

アスベストについては工事発注後に法律が改正され、アスベスト対策の費用が追加になった。専門担当の職員の説明について審議するものであり、専門家がいなかったから予算増になった訳ではない。

- ③病院の経営状況はどうなのか。

[回 答]

経営は厳しいが、入院・外来とも盛り返している。医師数30人の確保に向けて、山大と協力しながら増やしていきたいとのことである。

- ④新病院ができたのに累積赤字が増えているが、具体的に何を「頑張る」のか。人気のある病院にするための方策は何か。

[回 答]

今後改革プランを示すこととなっており、医師を早く増やすことが重要である。

- ⑤病院へのバスの乗り入れについて、バス運賃の補助を考えられないか。

[回 答]

民生福祉委員会の中で議論する。

- ⑥（意見）病院職員の態度が気になる。待ち状況の説明がない。

- ⑦国民健康保険料の未収金について、金額と回収方法について聞きたい。

[回 答]

約1750世帯の約3億9,800万円である。債権対策室で回収しているが、連絡つかないなど苦労しているようだ。

- ⑧宇部市との水道広域化について検討が遅々として進まないが、状況はどうなのか。

[回 答]

本年3月、初めて予算が計上された。産業建設委員会としてはこれからも調査をしていく。

- ⑨転入促進事業について、市内で親元を離れ家を立てる市民には何も補助がないが、どうにかならないのか。

[回 答]

総務文教委員会として執行部に提言している。

⑩転入促進事業について若者へのPRをどのように行っているのか。

[回 答]

まだ不十分だが、市民病院や不動産会社など、いろいろな所にチラシを置いている。

⑪県内では本市に家を建てたいと思うようにする取組みが必要ではないか。

[回 答]

県内ではそれぞれの自治体が魅力づくりをしているが、本市も執行部が総合戦略の策定に向け努力中である。

⑫一般会計の歳入の説明をしてほしい。

[回 答]

市民税が主であるが、収益を上げないといけないし、歳入が増える手段を講じていかなければならない。

⑬（要望）若者にもっと目を向けてほしい。